

鹿島小だより

第60号 平成31年2月4日(月)発行 文責:鈴木

【電話】0244-46-2240【ホームページ】<https://minamisoma.fcs.ed.jp>

平成30年度重点目標「話し合おう やってみよう」

除雪作業も一生懸命

1月26日(土)の朝は、思っていた以上に積雪があっぴょくりしました。土日の天気良かったので、日なたの部分はほとんど溶けて道路も乾燥した状態になりましたが、日陰は雪が溶けずに路面も凍結している箇所がありました。28日(月)の朝は、学校の北側の歩道にまだ雪があり、足下の悪い中で子どもたちは登校して来ました。そんな中で6年生の子どもたちは、スコップや竹ぼうきなどを使って、歩道の雪や氷を取り除く作業をしてくれました。雪の下が凍っていて、それをスコップで壊しながら、一生懸命に取り組んでいました。そのおかげで、歩道の下のアスファルトが見えるようになり、安全に歩けるようになりました。6年生の皆さん、みんなのためにありがとうございました。



いわしの頭と柊(ひいらぎ)の葉



2月3日(日)は節分でしたが、給食では1月29日(火)に、それにちなんだ献立が一足お先に出されました。この日は、ご飯、豚汁、いわしの蒲焼き、小松菜の海苔和え、節分豆、牛乳が出ました。節分には、悪いことを起こす邪気を鬼に見立てて、鬼の嫌がるいわしの頭や柊の葉を家の玄関の外に飾る風習があります。そして、煎った大豆をまいて家の中の鬼を追い出し、福を呼び込む豆まきを

します。また最近では、患方を向いて太巻き寿司を無言で食べると縁起が良いとも言われています。皆さんのご家庭でも、大きな声で豆まきをしたり、いわしの頭と柊の葉を飾ったり、患方巻きを食べたりしたかもしれません。豆まきのいわれは分かっている、なぜ節分にちなんだ給食にいわしが出たのかは、どのくらいの子どものたちが分かっていたのでしょうか？

《裏面もご覧ください》

インフルエンザ依然「警報レベル」

1月30日(水)付けの福島県感染症発生動向調査週報によると、県内のインフルエンザの患者数はさらに増加し、1定点医療機関当たり63.19人となり、前週よりも流行が拡大しています。相双地区は55.67人と前週の61.66人よりは少なくなりましたが、依然として警報レベルとなる30.00人を超えています。県内では、南会津地区を除いてインフルエンザ警報が継続して出されていますので、皆さんも十分にご注意ください。